

平成30年度 第10回理事会

日 時：平成31年1月11日（金） 15：15～15：30

場 所：テレビ会議 （つくば市、日立市、川崎市）

I. 報 告

1. 平成30年度補正予算及び平成31年度予算概算決定の概要
2. 保険料収入及び保険金支払いの実績について【非公表資料】
3. その他
 - （1）今後の行事予定について
 - （2）主要行事

理 事 会 資 料
平成 31 年 1 月 11 日
総 合 調 整 室

平成 3 1 年度概算決定額について

平成 3 1 年度予算案については、平成 3 0 年 1 2 月 2 1 日に閣議決定され、平成 3 1 年度運営費交付金及び施設整備費補助金の概算決定額は、別紙のとおりとなりましたのでお知らせいたします。

<対策のポイント>

森林・林業に係る試験・研究や林木の優良な種苗の生産・配布等を行うことにより、森林の多面的機能の発揮や、林業技術の向上を図ります。

<政策目標>

○森林及び林業に関する総合的な試験・研究及び林木育種事業を着実に推進します。

○国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期目標を達成します。

<事業の内容>

○国立研究開発法人森林研究・整備機構は、**森林及び林業に関する総合的な試験・研究等**を行うことにより、森林の保続培養を図るとともに、林業に関する技術の向上に寄与し、もって**林業の振興と森林の有する公益的機能の維持増進に資する**ことを目的として設置されています。

○森林及び林業に関する総合的な試験・研究等を着実に推進し、国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期目標を達成するため、**森林・林業分野における行政課題に対応し、**

ア 森林の多面的機能の高度発揮に向けた森林管理技術の開発

イ 国産材の安定供給に向けた持続的林業システムの開発

ウ 木材及び木質資源の利用技術の開発



エ 森林生物の利用技術の高度化と林木育種による多様な品種開発及び育種基盤技術の強化

の**試験研究を実施**します。

<事業イメージ>

[森林研究・整備機構の試験・研究]

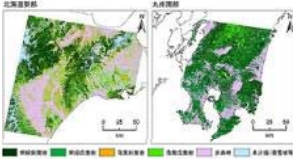

ア 森林の多面的機能の高度発揮に向けた森林管理技術の開発



森林生態系を活用した治山技術の高度化と防災・減災技術の開発

生物多様性の保全等に配慮した森林管理技術の開発

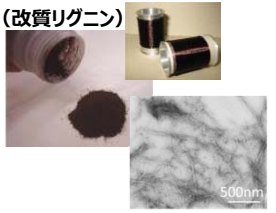

イ 国産材の安定供給に向けた持続的林業システムの開発



持続的かつ効率的な森林施業及び林業生産技術の開発

多様な森林資源の活用に対応した木材供給システムの開発



ウ 木材及び木質資源の利用技術の開発



資源状況及びニーズに対応した木材の利用技術の開発及び高度化

未利用木質資源の有効物質への変換及び利用技術の開発

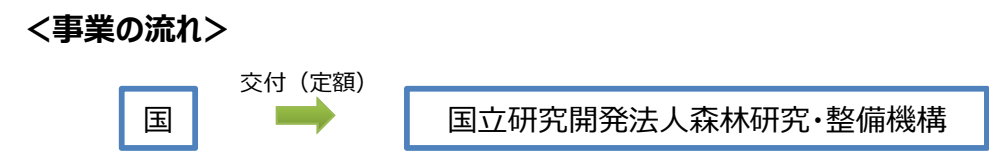
エ 森林生物の利用技術の高度化と林木育種による多様な品種開発及び育種基盤技術の強化



(少花粉スギ品種)

多様な優良品種等の開発と育種基盤技術の強化

(成長に優れた品種)



国立研究開発法人森林研究・整備機構施設整備費補助金（継続）

【平成31年度予算概算決定額 223,036 （218,981）千円】

<対策のポイント>

森林・林業に係る試験・研究や林木の優良な種苗の生産・配布等に必要な施設の改善等を行うことにより、これらの業務の円滑な実施を図ります。

<政策目標>

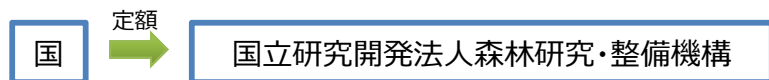
- 森林及び林業に関する総合的な試験・研究及び林木育種事業を着実に推進します。
- 国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期目標を達成します。

<事業の内容>

- 森林研究・整備機構の業務の適切かつ効率的な実施及び職員の安全・安心の確保のため、**業務実施上の必要性、既存施設の老朽化等を勘案し、業務運営に必要な次の施設の整備**を行います。

- ・北海道支所暖房設備改修
- ・四国支所構内電気設備他改修
- ・林木育種センター東北育種場F2世代開発推進交雑温室整備
- ・林木育種センター東北育種場奥羽増殖保存園種穂増殖温室改修
- ・林木育種センター関西育種場F2世代開発推進交雑温室改修
- ・林木育種センター九州育種場F2世代開発推進交雑兼種穂増殖温室改修

<事業の流れ>



<事業イメージ>



○北海道支所暖房設備

寒冷地である北海道にある支所の暖房設備であるが、築44年が経過し、老朽化が著しいため、熱交換器の入れ替え、必要な配管の整備等を実施します。



○奥羽増殖保存園種穂増殖温室

採種園等の造成に用いる特定母樹等の原種を増殖する施設であるが、築57年が経過し、鉄骨の腐朽やガラスの破損など老朽化が著しいため、内外装工事、灌水装置の整備等を実施します。

平成 3 1 年度当初予算及び 平成 3 0 年度第 2 次補正予算

平成31年度 森林整備事業予算概算決定(民有林)総括表

1. 一般会計

(単位:百万円)

事 項	平成30年度 当初予算額	平成31年度当初予算概算決定額			平成30年度補正追加額		計 C+D+E
		臨時・特別の 措置を含まない A	臨時・特別の 措置 B	概算決定額 C=A+B	1次補正 D	2次補正 E	
森林整備事業(民有林)	54,582	55,396 (101.5%)	8,688	64,084 (117.4%)	-	12,040	76,124
民有林補助事業	29,737	30,180 (101.5%)	4,734	34,914 (117.4%)	-	9,943	44,857
森林整備事業調査等	79	116 (146.8%)	-	116 (146.8%)	-	-	116
森林環境保全整備事業	28,877	29,104 (100.8%)	4,734	33,838 (117.2%)	-	9,943	43,781
森林環境保全直接支援事業	23,194	23,445 (101.1%)	4,344	27,789 (119.8%)	-	6,687	34,476
林業専用道整備事業	1,000	1,015 (101.5%)	37	1,052 (105.2%)	-	-	1,052
森林資源循環利用林道整備事業	1,833	2,046 (111.6%)	313	2,359 (128.7%)	-	2,851	5,210
特定森林再生事業 (環境林整備事業を再編)	2,850	2,598 (91.2%)	40	2,638 (92.6%)	-	405	3,043
後進地域補助率差額	10	97 (970.0%)	-	97 (970.0%)	-	-	97
美しい森林づくり基盤整備交付金	771	863 (111.9%)	-	863 (111.9%)	-	-	863
水源林造成事業	24,845	25,216 (101.5%)	3,954	29,170 (117.4%)	-	2,097	31,267
災害復旧等	2,352	2,393 (101.7%)	-	2,393 (101.7%)	17,334	6,082	25,809

2. 復興特別会計(東日本大震災における復興対策に係る経費)

(単位:百万円)

事 項	平成30年度 当初予算額	平成31年度 当初予算 概算決定額
森林整備事業(民有林)	4,050	4,273 (105.5%)
民有林補助事業	3,545	3,759 (106.0%)
森林環境保全整備事業	3,545	3,759 (106.0%)
森林環境保全直接支援事業	2,537	2,732 (107.7%)
林業専用道整備事業	1,008	1,027 (101.9%)
後進地域補助率差額	-	-
水源林造成事業	505	514 (101.8%)

(注) 1 上記のほか、森林整備関係予算として農林水産省計上の農山漁村地域整備交付金、内閣府計上の地方創生道整備推進交付金がある。

2 「臨時・特別の措置」とは、重要インフラの緊急点検等を踏まえた防災・減災、国土強靱化のための緊急対策に係る分である。

3 ()内の数字は前年度比。

森林整備事業＜公共＞

【平成31年度予算概算決定額 122,107（120,313）百万円】
（平成30年度第2次補正予算額 18,211百万円）

うち2,097百万円

＜対策のポイント＞

林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を実現するため、新たな森林管理システムが導入される地域を中心に、**間伐や路網整備、再造林等を推進**するとともに、国土保全や地球温暖化防止等に貢献します。

＜政策目標＞

森林吸収量2.7%以上（平成17年度比）の確保に向けた間伐の実施（平成25年度から平成32年度までの8年間の年平均：52万ha）

＜事業の内容＞

1. 間伐や路網整備、再造林等

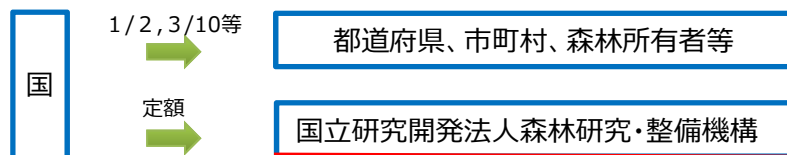
森林環境保全直接支援事業	23,445（23,194）百万円
森林資源循環利用林道整備事業	2,046（1,833）百万円
林業専用道整備事業	1,015（1,000）百万円

- ① 森林資源が充実した区域等において、**路網ネットワークを形成するため森林作業道、林業専用道、林業生産基盤整備道をバランスよく整備**します。また、**効率的な森林整備のための航空レーザ計測**を実施します。
- ② **再造林や間伐等の森林整備**を推進することで、健全な森林を育成します。

2. 台風等の気象害を受けた被害森林や奥地水源林等の整備

特定森林再生事業（環境林整備事業を再編）	2,598（2,850）百万円
水源林造成事業	25,216（24,845）百万円

＜事業の流れ＞



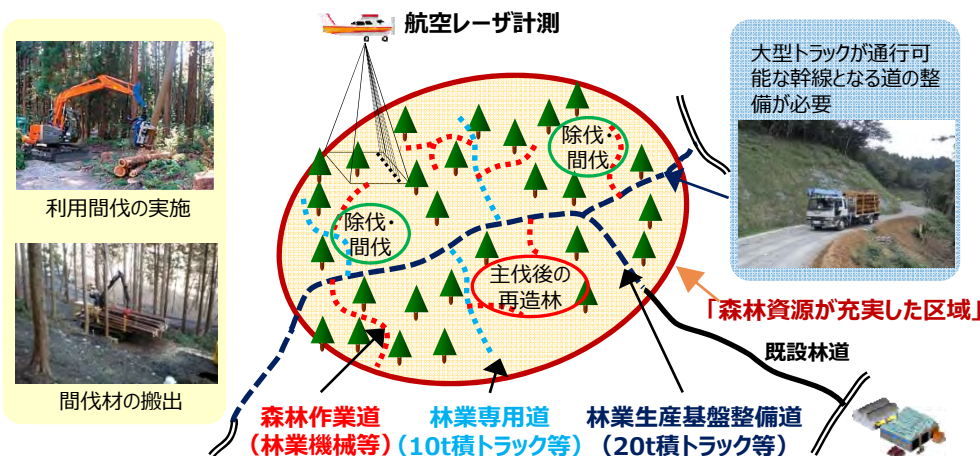
※このほか国有林による直轄事業を実施

＜事業イメージ＞

新たな森林管理システムを支える条件整備
（森林の経営管理を集積・集約化する地域を中心として重点的に支援）

- 木材生産と森林管理を行うための路網整備
- 利用間伐等の促進

- ・ 路網ネットワークを形成するため森林作業道、林業専用道、林業生産基盤整備道をバランスよく整備
- ・ 間伐等により、適切な森林管理と木材の利用促進を両立



※ このほか、台風等の気象害を受けた被害森林の整備などを推進

【お問い合わせ先】 林野庁整備課（03-6744-2303）

森林整備事業（公共）【復興対策】

うち 514 (505) 百万円
【平成31年度予算概算決定額 6,527 (6,315) 百万円】

<対策のポイント>

放射性物質を含む土砂の流出防止を図るための間伐・路網整備等を支援するとともに、避難指示区域に指定されていた市町村を中心に、航空レーザ計測による効率的な計画策定や路網の開設等を重点的に実施します。

<政策目標>

土壌を保持する能力等が良好に保たれている森林の割合の増加

<事業の内容>

1. 災害に強い森林づくり

特用林産物の出荷制限地域を含む市町村において、森林所有者等が行う放射性物質対策と一体となった間伐・路網整備等を推進します(災害に強い森林づくりでは、林業専用道の開設等が実施できます)。

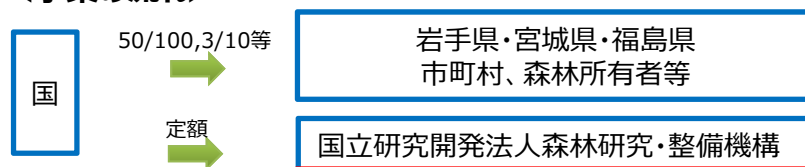
2. 汚染状況重点調査地域等森林整備事業 (公的主体による間伐等)

汚染状況重点調査地域等において、放射性物質の影響等で所有者自らでは整備が進めがたい森林について、県・市町村の公的主体による間伐・路網整備等を推進します(ふくしま森林再生事業は本事業を活用して実施します)。

3. 航空レーザ計測の実施

福島県内において、避難指示区域に指定されていた市町村を中心に効率的な路網計画策定のための航空レーザ計測等を支援します。

<事業の流れ>



※このほか、国有林による直轄事業を実施

<事業イメージ>



【お問い合わせ先】 林野庁整備課 (03-6744-2303)

森林の緊急対策＜公共＞

うち3,954百万円

【平成31年度予算概算決定額（森林整備事業）19,151百万円、（農山漁村地域整備交付金）5,000百万円の内数】
（平成30年度第2次補正予算額（森林整備事業）4,112百万円、（農山漁村地域整備交付金）5,000百万円の内数）

＜対策のポイント＞

山腹崩壊や流木被害等のおそれのある地域について、山地災害の未然防止や林道機能の確保等を図るため、**荒廃森林の間伐や森林の緊急造成、法面崩壊等の危険性が高い林道の改良整備等を実施**します。

＜政策目標＞

- 緊急的に整備が必要な荒廃森林約2,000か所において、災害発生の危険性を低減〔平成32年度まで〕
- 緊急的に改良整備が必要な林道約300か所において、被災の危険性を低減〔平成32年度まで〕

うち2,055百万円(国土強靱化分)

＜事業の内容＞

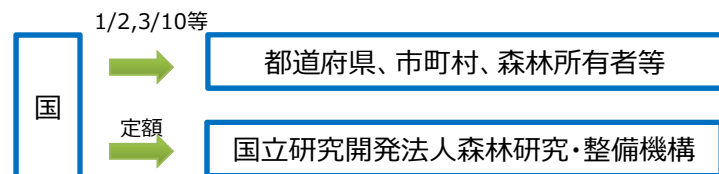
1. 森林整備事業

- 重要インフラ緊急点検等を踏まえて、緊急に対策が必要な荒廃森林について、山地災害や流木被害等の未然防止等を図るため、**間伐等の森林整備や林道の改良整備**を実施します。
- 台風や地震等により被害を受けた森林について、**被害木の除去や森林の緊急造成等**を実施します。

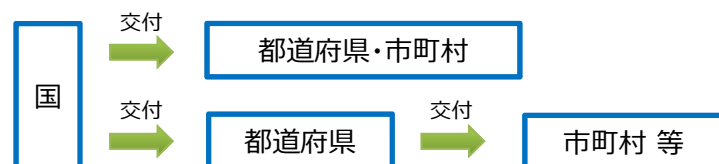
2. 農山漁村地域整備交付金

- 重要インフラ緊急点検等を踏まえて、法面や排水施設等の改良整備が必要な**林道の改良整備**を実施します。

＜事業の流れ＞



※このほか国有林による直轄事業を実施



※国費率1/2等

(1の事業)

(2の事業)

＜事業イメージ＞



【お問い合わせ先】 林野庁整備課（03-6744-2303）

平成31年度 非公共予算概算決定総括表

林野庁整備課

(単位:千円)

事 項	平成30年度予算	平成31年度予算概算決定	
			対前年度比
優良種苗低コスト生産推進事業	142,155	119,486	84.1%
特別母樹林保存損失補償金	9,690	9,690	100.0%
分収林施業転換推進事業	60,000	55,833	93.1%
幹線林道事業移行円滑化対策交付金	91,954	90,640	98.6%
林業成長産業化総合対策	23,470,201	24,050,307	102.5%

【復興特会分】

(単位:千円)

事 項	平成30年度予算	平成31年度概算決定	
			対前年度比
放射性物質対処型森林・林業再生総合対策	3,201,074 うち 32,886	3,170,202 うち33,086	99.0% 100.6%

幹線林道事業移行円滑化対策交付金（継続）

【平成31年度予算概算決定額 90,640（91,954）千円】

<対策のポイント>

平成19年度末に緑資源機構を廃止し、緑資源幹線林道事業も廃止したことに伴い、業務を承継した国立研究開発法人森林研究・整備機構において既設幹線林道に係る債権の確定と円滑な賦課金等の徴収、借入金等の償還を円滑に進める必要があります。

<政策目標>

既設幹線林道の道県等への円滑な移管

<事業の内容>

1. 賦課金等債権の確定及び徴収のための事務費

国立研究開発法人森林研究・整備機構における既設幹線林道に係る債権の確定と賦課金・負担金の徴収に係る事務費を措置します。

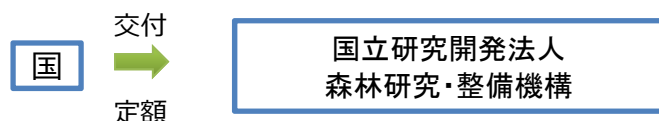
2. 徴収・償還等対策

- ① 賦課金の再調整に伴う還付利息相当額を補填します。
- ② 徴収・償還の制度差に起因する利差損相当額を補填します。

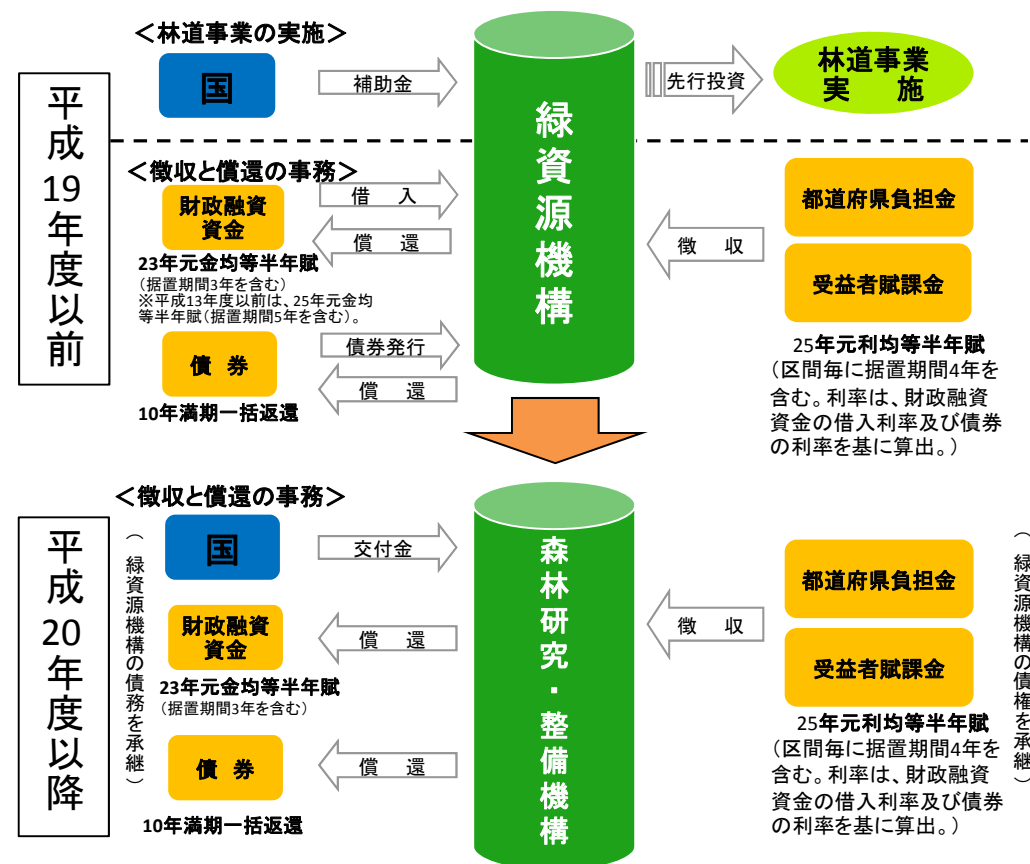
【ポイント】

- ・ 幹線林道事業の廃止に伴う区間の中止・見直しにより、受益者でなくなる者が発生します。これに対処するため、徴収した賦課金に利息を付して還付する必要があります。
- ・ 幹線林道事業に係る借入金（23年償還）等の償還財源は、金利を付して徴収する負担金等（25年償還）及びその運用益により賄う仕組みとなっています。しかしながら、高金利時代の負担金等に係る繰上償還が相次いだことにより、財政融資資金の償還財源が不足することから、利差損相当額を補填する必要があります。

<事業の流れ> 平成20年度～



<事業イメージ>



【お問い合わせ先】 林野庁整備課（03-3581-1032）

放射性物質対処型森林・林業再生総合対策事業（拡充）

うち 33,086 (32,886)千円
【平成31年度予算概算決定額 3,170,202 (3,201,074) 千円】

<対策のポイント>

被災地の森林・林業の再生を図るため、森林内における放射性物質の実態把握、森林施業等に関する放射性物質対策技術の検証、避難指示解除区域等における林業再生に向けた実証、森林整備を実施する際に必要な放射性物質対策等の取組を実施します。

<政策目標>

森林・林業の再生を通じた被災地の復興

<事業の内容>

1. 森林内における放射性物質の実態把握 34,192 (34,000)千円

- 森林内の放射性物質による汚染実態等を把握するため、樹冠部から土壌中まで階層ごとの放射性物質の分布状況等の調査・解析を実施します。

2. 森林施業等に関する放射性物質対策技術の検証 162,231 (160,000)千円

- 放射性物質の移動抑制等を目的として技術実証を実施した箇所において、モニタリング調査等を実施し、森林施業等に関する放射性物質対策技術を検証します。

3. 避難指示解除区域等における林業再生に向けた実証等 562,871 (559,045)千円

① 避難指示解除区域等における実証等

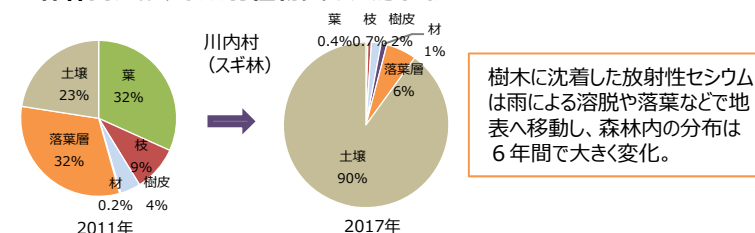
避難指示解除区域等において、地域住民の帰還と林業の再生を円滑に進められるよう実証事業等を実施します。

② 情報の収集・整理と情報発信等

林業の再生に向けた情報の収集・整理と情報発信等を実施します。

<事業イメージ>

1. 森林内における放射性物質の実態把握



2. 森林施業等に関する放射性物質対策技術の検証



間伐等の影響



土砂移動量の測定



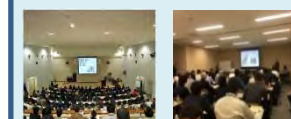
ぼうが更新木の濃度測定

3. 避難指示解除区域等における林業再生に向けた実証等

① 避難指示解除区域等における実証等



② 情報の収集・整理と情報発信等



<事業の内容>

4. 放射性物質対処型林業再生対策

2,410,908 (2,448,029)千円

① 実証に係る事前調査等

事業地を選定するための汚染状況重点調査地域等の森林の放射線量等の概況調査、作業計画の検討を行うための事業対象森林の調査、森林所有者等への説明・同意取り付け等を実施します。

② 伐採に伴い発生する副産物の減容化等放射性物質への対処方策の実証

円滑な森林整備を促進するため、伐採に伴い発生する樹木の枝葉等の破碎・梱包・運搬、放射性物質の移動抑制のための筋工の施工等、地域において森林整備を実施する際に必要な放射性物質対処方策を実証的に実施します。

③ 副産物等の利用の円滑化のための実証

既存及び新設木質バイオマス関連施設の利用にあたって、放射性物質への影響に対処するための施設等の整備や新技術の導入等により、実証的な取組を実施します。また、樹皮（バーク）等の有効利用を促進するため、燃料や農業資材等への利用拡大に向けた実証的な取組を実施します。

④ ほだ木等原木林再生のための実証

放射性物質の影響を受けているほだ木等の原木林の再生に向けた実証的な取組を実施します。

<事業の流れ>

○ 1、3の事業

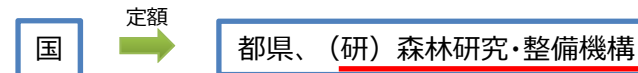


※ 3の一部は国有林による直轄事業

○ 2の事業



○ 4の事業



※ 4②の一部は国有林による直轄事業

<事業イメージ>

4. 放射性物質対処型林業再生対策

① 実証に係る事前調査等

森林の放射線量等の概況調査・詳細調査、森林所有者への説明・同意取付等を実施



関係者の同意取付



概況調査等

② 放射性物質への対処方策の実証

枝葉等の破碎・運搬等、放射性物質の移動抑制のための筋工の施工等を実施



移動抑制対策(筋工)



枝葉等の破碎

③ 副産物等の利用円滑化のための実証

木質バイオマス関連施設の利用にあたり、施設の整備や新技術の導入等を実施
樹皮(バーク)の有効利用を促進するため、燃料等の利用拡大に向けた実証を実施



熱供給施設等

④ ほだ木等原木林再生のための実証

放射性物質の影響を受けているほだ木等の原木林の再生に向けた取組を実施



伐採等による再生実証

[お問い合わせ先] 林野庁研究指導課 (03-6744-9530)
林野庁業務課 (03-3503-2038)

今後の行事予定について

日 付	研究	整備	保険	行 事 名 等	場 所
1月11日	○	○	○	第10回理事会	森林総合研究所
1月23日	○			木材利用シンポジウムin千葉 ～ ちばの木を活用する「まちづくり」 ～	船橋市勤労市民センター（船橋市）
1月24日	○			公開成果報告会「優良苗の安定供給と下刈り省力化による一貫作業システム体系の開発」	東京大学農学部中島董一郎記念ホール
1月28日		○		第4回事業運営会議	森林整備センター
1月28日			○	第4回森林保険運営会議	森林保険センター
1月28日～29日		○		平成30年度 整備局長会議	森林整備センター
1月28日～29日	○			WOODコレクション(モクコレ)2019出展	東京ビッグサイト（江東区）
1月29日	○			SATテクノロジー・ショーケース2019	つくば国際会議場（つくば市）
1月29日～30日	○			会計実地検査	林木育種センター
2月1日			○	統合リスク管理委員会	森林保険センター
2月2日	○			タイワンリスシンポジウム～かわいいではすまされない～	浜松市地域情報センター
2月5日	○			平成30年度岩手県林業技術センター・森林総合研究所東北支所・林木育種センター東北育種場 合同成果報告会	プラザ おでって（盛岡市）
2月5日	○			育種運営会議	森林総合研究所
2月6日	○			REDD プラス平成30年度国際セミナー	東京大学伊藤謝恩ホール
2月8日	○	○	○	第11回理事会	森林総合研究所
2月12日	○	○		関西地域評議会	森林総合研究所 関西支所
2月13日	○			カラマツ地域戦略プロジェクト成果発表会	木材会館6階（江東区）
2月13日	○			平成30年度林木育種成果発表会	木材会館7階（江東区）
2月14日	○			公開シンポジウム「大径材がかがやきを放つために」共催	石川県地場産業振興センター新館（金沢市）
2月16日	○			森林総合研究所関西支所 森林教室	森林総研究所 関西支所
2月18日	○	○		森林研究・整備機構 北海道地域研究成果発表会	札幌市男女共同参画センター3階ホール
2月18日	○	○		東北地域評議会	森林総研東北支所
2月中旬	○	○		四国地域評議会	森林総研四国支所
2月20日	○	○		北海道地域評議会	森林総研北海道支所
2月20日	○	○		九州地域評議会	森林総研九州支所
2月22日～23日	○			広葉樹の利用と再生についてのワークショップと現地検討会（森林総合研究所関西支所・東近江市）	滋賀県東近江市
2月25日～27日		○	○	会計実地検査	森林整備センター 森林保険センター

主要行事(平成30年12月14日～平成31年1月10日)

月 日	行 事 内 容	出 席 者
12月14日(金)	【共】第9回理事会	理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事
17日(月)	研究公正 第1回国立研究開発法人部会	研究担当理事
18日(火)	平成29年度決算検査報告説明会	企画・総務・森林保険担当理事、平川監事
21日(金)	国立研究開発法人協議会総会	理事長
"	【保】森林保険センター内定式(平成31年4月1日付職員採用)	企画・総務・森林保険担当理事、森林保険センター所長
"	【保】森林保険センター事務業務検討委員会	企画・総務・森林保険担当理事、森林保険センター所長
25日(火)	森林管理局長等会議	理事長
1月 7日(月)	新年賀詞交換会(日本林業協会)	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、育種・森林バイオ担当理事、森林業務担当理事、法令遵守担当理事
"	新年合同賀詞交換会(東京都合板組合連合会)	理事長、企画・総務・森林保険担当理事
8日(火)	林野庁庁議	理事長

※【研】: 森林総合研究所、【育】: 林木育種センター、【整】: 森林整備センター、【保】: 森林保険センター、【共】: 共通の行事 の略